

年間
発行数

No.1

新作サブデイト、実機で新旧比較検証する!

[パワーウォッチ]

POWER

watch



2021年1月号 No.115 January 定価:870円(税込) <https://www.powerwatch.jp>

奇数月30日発売

実機で
インプレッション

ROLEX
サブマリーナーデイト
Ref.126610LN
Ref.126610LV
CARTIER
パンシャドゥ
カルティエ 41mm
IWC
ポルトギーゼ
オートマティック40

今年もやります、
名店巡り!



時計トレンドや人気の傾向など

並行輸入市場の
この10年を振り返る

連載企画

アンティーク審美眼
短期連載 [第1回]

ダイバーズ時計

エリア
マップ
付き

銀座で見つける
最良の1本

WEMPE

ヴェンペのニューアイコン【アイアンウォーカー】は

オンオフこなせる 正統派ブレスウォッチ

構成・文◎堀内大輔(編集部) 写真◎笠井修



オンオフ兼用使いなら 適度に存在感がある “40”がおすすめ

アイアンウォーカー オートマティック 40

今年ヴェンペから約10年ぶりとなる新シリーズとして発表された“アイアンウォーカー”は、同社のこだわりである高い外装クオリティを追求した正統派ブレスウォッチだ。ケースは40mm径で適度に存在感を主張しつつ、10mmを切る薄さで快適な装着感を両立させた。

■Ref.WI100006。SS (40mm径/9.75mm厚)。10気圧防水。自動巻き (Cal.ETA2892-A2)。39万6000円

好みやシーンで選べる 2サイズ展開

10月中旬、ヴェンペのニューアイコンとなる「アイアンウォーカー」のローンチが開始された。前号でその実機レビューをお届けしたが、引き続き今回もその魅力に迫ってきたい。

本作は、昨今人気を博しているいわゆる「ラグスポ」のスタイルを採用した正統派ブレスウォッチだ。その魅力として真っ先に挙げられるのはヴェンペらしいこだわりの外装クオリティだが、これと同じくらい高く評価したいのが快適な装着感である。ケースとラグが一体型に成形されていることに加え、ケース厚が10mm以下に抑えられているため、手首によくなじみ非常に着けやすいのだ。また3針仕様では2サイズから選べるというのうれしいポイントである。参考までにお伝えすると、上の着用カットの手首周りは16・5cm。同程度の手首周りの人ならば、両サイズとも違和感なく合わせられるだろう。ちなみに汎用性を重視するなら40mm径のブルー、ビジネスユースとしては知らぬ印象を高める36mm径のホワイト文字盤がおすすめ。自身の好みや着用するシーンなどを踏まえてチョイスしてほしい。

ビジネスユースならスマートな
“36”がおすすめ



**アイアンウォーカー
オートマティック 36**

3針モデルでは小振りな36mmサイズも展開されているため、手首の細い人も安心だ。またビジネスユースを想定している人は、スマートな印象が高まる36mmサイズをあえて狙うのもおすすめ。なおバリエーションは両サイズでホワイト、ブラック、ブルーの3色が展開される。

■Ref.WI100001。SS (36mm径/9.75mm厚)。10気圧防水。自動巻き (Cal.ETA2892-A2)。37万9500円



価格以上の価値を感じさせるこだわりの外装クオリティ



コマの角のみにポリッシュ仕上げを施すことでフォルムをいっそう際立たせた。またケースの厚みに合わせてプレスレットも薄く仕立てられているため、シャツの袖口にも納まる



山型に成形されたベンシル針や中央の溝に夜光を塗布したバーインデックスなど、ディテールに立体感を与えることで、視認性と美観が高められている



ミドルケースの厚みを抑えているため、実際のケース厚9.75mmよりもさらに薄く見える。また均一となったヘアライン仕上げがエッジ感を適度に強調し、フォルムを際立てている

〈ダイバーとクロノグラフモデルも展開〉



Iron Walker Automatic Chrono

ドイツクロノメーター認定を取得したクロノグラフモデル。
■(左) Ref.WI300002。(右) Ref.WI300001。SS (42mm径/13.95mm厚)。10気圧防水。自動巻き (Cal.ETA7753)。各61万5000円



Iron Walker Automatic Diver

色分けされたインナーベゼルと30気圧防水を備える本格ダイバー。
■(左) Ref.WI200001。(右) Ref.WI200002。SS (42mm径/11.7mm厚)。30気圧防水。自動巻き (Cal.ETA2892-A2)。各49万5000円

海外の愛好家のなかでも知られる銀座の名店

選り抜かれたアンティークを提供

80万円台で狙うなら パテックに比肩する作りを備えた ヴァシュロンに注目

パテックに肩を並べるほど秀逸な作りが魅力のヴァシュロンだが、価格に関しては手の届く80万円台からラインナップ。アンティーク好きはもちろん、ビギナーも必見である



1 ヴァシュロン・コンスタンタン レクタンギュラー

細身のシルエットのケースに、特徴的な円柱状のラグを組み合わせたデコラティブなデザインが魅力。着用すると実サイズ以上の存在感を放つ。
■K14YG (20×26mmサイズ)。非防水。手巻き (Cal.435/C)。1930年代製。88万円

2 ヴァシュロン・コンスタンタン Ref.6135

オールドヴァシュロンのなかでもより希少な18金モデル。上品なケースシルエットと、カット面の際立つくさび形インデックスがマッチしたエレガントな1本。
■Ref.6135。K18WG(31mm径)。非防水。手巻き (Cal.1002)。1950年代製。77万円



4



3

3 ロンジン クリップ防水スクエアケース

ケース上下のクリップで防水性を高めた個性的な1本。
■SS (27×27mmサイズ)。非防水。手巻き (Cal.23M)。1940年代製。63万8000円

4 IWC Cal.83 ブラックミラーダイヤル

30mm径が多いキャリバー 83搭載モデルながら、絶妙な32.5mm径が魅力。
■SS (32.5mm径)。非防水。手巻き (Cal.83)。1930年代製。66万円

アンティークとの出会いを大切に考える

オメガやロンジン、IWCと言った定番ブランドや、ジャガールクルト、ヴァシュロン・コンスタンタンと言った名門ブランドまで幅広く取り揃えるアンティークウォッチの名店、シェルマン。なかでも同店が得意とし、代名詞的になっているのがパテック・フィリップのコレクションである。40年以上にわたりパテック・フィリップを取り扱ってきた確かな審美眼とネットワークを用いた、国内屈指のラインナップが魅力だ。

「パテック・フィリップと聞くと少々敷居が高い印象ではありますが、手にとっていただきやすい価格帯も、現在強化しております。多様に仕入れを行っています。上質なコンディションのモデルにのみこだわっておりますため安心して購入していただければと思います」



店内のカウンターにはオメガやホイヤーといった、比較的手に入れやすい価格帯のアンティークモデルが陳列。また壁面のケースにはオールドパテックの名店らしく、希少価値の高いパテック フィリップが並べられている

SHOP INFORMATION



住所：中央区銀座
5-9-12 ダイヤモンドビル1F
営業時間：11:00～19:30
定休日：水曜
TEL:03-5568-1234
URL: <http://www.shellman-online.jp>

3 パテック フィリップ

Ref.96

直線と曲線のコントラストが際立つ、1930年代を代表するセクターデザインの1本。■Ref.96。K18YG(30.5mm径)。非防水。手巻き(Cal.12'')。1934年製。297万円

4 パテック フィリップ

Ref.3429

緩やかにカーブしたラグにエッジの効いたベゼル、そして立体的なエナメル仕上げのロゴが特徴。■Ref.3429。K18YG(34mm径)。非防水。自動巻き(Cal.27-460)。1963年製。220万円

5 パテック フィリップ

Ref.3445

名機Cal.27-460Mを搭載した、自動巻きの実用パテックとして人気の高いモデル。■Ref.3445。K18WG(35mm径)。非防水。自動巻き(Cal.27-460M)。1960年代製。154万円

編集部・船平の
Recommend Point最高峰の逸品から
入門機まで網羅

シェルマン銀座といえばオールドパテック、というイメージが定着しているため敷居が高い印象かもしれませんが、パテックに関しても100万円台の入門機から取り揃えており、実は20万円前後の実用アンティークに関してもオメガ、IWCなどを中心に豊富に取り揃えています。

予算を気にせず選ぶなら
オールドパテックの
レアモデルがおすすめ

海外人気が高まり現在では市場にあまり出回らないものや、ツートン仕様のコンビなど、オールドパテックの名店ならではのセレクトが光るチョイスに注目

1 パテック フィリップ
ビッグカラトラバ

海外市場において大人気の35mmのビッグカラトラバ。特に18金製は貴重だ。鋭いフラットなベゼルと流麗なカラトラバラインはもはや芸術品である。■Ref.570。K18WG(35mm径)。非防水。手巻き(Cal.27S C)。1967年製。374万円

2 パテック フィリップ
Ref.466

1929年製のオールドパテック。12・3・9の飛びアラビアインデックスなどのアール・デコ調の文字盤がポイントだ。ケースは、これまた希少なSSとPGのコンビ。■Ref.466。SS×PG(22×30mmサイズ)。非防水。手巻き(Cal.9)。1929年製。198万円



5



4



3

アンティークビギナーであっても、アンティークウオッチに造詣が深い専門スタッフが、自身が好きなデザインの時計をもとにおすすめのモデルをピックアップしてくれるため確かな満足感が味わえるだろう。

「アンティークウオッチは一期一会です。そのどれもが一点物であり、一度出会ったらもう同じものには出会えない、素敵な魅力をもっています。気軽に来店していただき、ぜひお気に入りの1本を見つけてみてください。」

最近では同店のブログも好評で、なんと記事を更新したら、国内外問わずその時計について必ず問い合わせが来ると言う。なかにはオンラインショップよりも早く掲載している個体もあるため、こまめにチェックしてほしい。